

平成23年度糸魚川市音楽教育研究の取組

糸魚川市研究部長 小田島 栄重 (糸魚川市立西海小学校 校長)

糸魚川市教育研究会音楽部として、小・中学校が連携して次の三つの活動を行った。

1 音楽実技研修会

- (1) 研修テーマ「教科書教材をつかった音楽実技研修」
- (2) 日時及び会場 9月22日(木)午後 西海小学校
- (3) 講師 黒沢吉徳 様 (作曲家)
- (4) 内容

この数年来、「教科書教材をつかった音楽実技研修会」と題し、隔年で小学校と中学校の教科書を交替で、それぞれの学習内容を学んでいる。受講者は、各小・中学校の音楽主任が中心であるが、希望者も含め複数で参加する学校もある。

講師の黒沢先生から、受講者が実際に歌ったり、楽器を演奏したりするなかで、教科書の編集の特徴や各楽曲の指導のポイント等を教えていただいた。

今年は、中学校の教科書の番であったが、今年度改訂された小学校の教科書についても触れられ、低・中・高学年と発達段階に従ってどのように変化して教科書が編集されているか学ぶことができた。特に、題材の配列で構成されてる小学校の教科書に対し、中学校では楽曲中心に編集されていることを興味深く感じた。

例えば、今まで中学校で扱っていた「明日という大空」が小学校の6年に下りてくるなど、具体的な変化を知ることができた。実技を中心とした研修なので受講者は受け身にならず、充実感に溢れた一時を送ることができた。

様々の教科・領域で小・中連携の大切さが強調されることが多いが、黒沢先生は小学校音楽教育での「拍の感覚の育成」と「階名唱の習得」の重要性を毎年強調されている。

小学校では、この二つの力を児童にしっかりと身に付けさせて中学校に送り出さなければならぬと思った。

2 小・中音楽発表会

毎年、11月上旬に開催している。今年度は、11月2日(水)青海きららホール、11月8日(火)能生マリンホール、11月11日(金)糸魚川市民会館の三会場に分かれ、午後日程で音楽会を実施した。糸魚川市では様々な学校規模の学校があり、参加形態や参加学年がそれぞれ工夫を凝らして、各学校の持ち味を生かした演奏内容になっていた。

3 授業研究会

- (1) 日時及び会場 11月16日(水)午後 青海中学校
- (2) 指導者 上越教育事務所 学校支援第1課指導主事 渡辺由紀 様
- (3) 題材名 「言葉のリズムで曲を作ろう」
- (4) 当日の様子

題材が創作領域で、小学校では音楽づくりの活動は取り上げられる機会が少ないこともあり、参観者にとって研修が深まったと思われる。小学校の「音楽づくりの活動」から中学校の「創作の活動」へ教科書を通してどのように発展していくかを確認することができた。さらに、渡辺指導主事からは、新しい学習指導の内容や指導のポイント、特に評価規準の変った点や留意すべき点について丁寧な指導があった。